



2023年1月27日

各 位

株式会社あおぞら銀行
代表取締役社長 谷川 啓
(コード番号：8304、東証プライム市場)
問合せ先：コーポレートコミュニケーション部
部長：松浦正治(電話：03(6752)1111)

2023年3月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ

今般、次期中期経営計画（2023年度～2025年度）における安定的かつ確実な成長を見据え、今期において有価証券ポートフォリオの評価損の一部につき一括処理を行うことといたしました。これに伴い、2022年5月16日に公表いたしました2023年3月期通期業績予想を以下の通り修正することを本日の取締役会にて決議いたしました。

なお、2023年3月期の年間配当予想（1株当たり154円）につきましては、変更ございません。

1. 2023年3月期通期業績予想の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

【連結】

(単位：億円)	連結粗利益	実質業務純益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想	1,030	460	495	360	308円29銭
今回修正予想	620	45	100	100	85円63銭
増減額	△410	△415	△395	△260	-
増減率	△39.8%	△90.2%	△79.8%	△72.2%	-

【個別】

(単位：億円)	業務粗利益	業務純益 (一般貸引繰入前)	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想	850	380	410	290	248円34銭
今回修正予想	470	10	70	△50	△42円81銭
増減額	△380	△370	△340	△340	-
増減率	△44.7%	△97.4%	△82.9%	-	-

2. 修正の理由

今年度期初からの米国金利の急上昇により外国債券を中心に発生した評価損については、今年度を通じてヘッジ取引等によるリスクコントロールを進め、現時点における評価損は減少傾向にあり、また今後の評価損拡大リスクは限定的な状況となっています。今般、今後の有価証券ポートフォリオ運営の柔軟性を確保し、来年度以降の次期中期経営計画における期間損益の改善を図るため、この評価損の一部につき、今期において一括処理を行うことといたしました。これに伴い、マーケット関連業務の収益が期初計画を大幅に下回る見込みとなることから、連結および個別の業績予想を下方修正するものです。

2023年3月末の連結自己資本比率（国内基準）は、現中期経営計画の目標である9%以上を維持する見込みです。

また、個別業績予想については、2022年10月25日に「当行連結子会社の増資引受け、ならびに当行個別決算における関係会社株式評価損の計上に関するお知らせ」にて公表いたしました、GMOあおぞらネット銀行株式にかかる関係会社株式評価損の計上（第2四半期個別決算において特別損失99億円を計上済）の影響を含んでおります。

なお、2023年3月期第3四半期連結決算は2023年2月3日に公表予定ですが、第3四半期（10-12月）において上記有価証券ポートフォリオの処理を開始したことから、2023年3月期第3四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純利益は157億円（第3四半期連結会計期間では3億円）を見込んでおります。

本件処理により、現状の有価証券ポートフォリオを前提とした有価証券評価損益（ヘッジ考慮後）は、次期中期経営計画の最終年度である2025年度には約△240億円となる見込みです（2022年9月末は△807億円、同12月末は約△700億円）。

また、本件処理後の次期中期経営計画期間中のマーケット部門における資金運用損益は、2023年度は△60億円、2025年度はゼロとなることを見込んでおります。

（注）上記はいずれも、現時点の市場環境に基づく試算値。

次期中期経営計画（2023年5月公表予定）においては、あおぞら型投資銀行ビジネスを中心とした注力分野へのリソースシフト、有価証券ポートフォリオ運用の収益改善、人的資本への積極投資により、業績の安定的かつ確実な成長実現を目指してまいります。

（ご参考）

2023年3月期配当予想について

当行は、配当性向を50%とし、四半期毎に業績を踏まえて柔軟に対応することとしております。今般、通期業績予想を修正いたしましたが、1株当たりの年間配当の予想額の修正は行いません。

基準日	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
配当予想 (2023年3月期)			—	—	154円
当期実績	38円	38円			
前期実績 (2022年3月期)	32円	32円	40円	45円	149円

※剰余金の配当（第3四半期配当）の実施については、2023年2月3日に公表予定です。

以 上

本資料の業績予想等は、当行が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当行として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。